



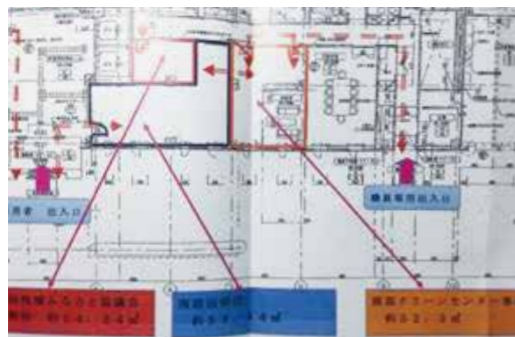
◎街づくりについて

●南部近隣センターリノベーション期間中の南部出張所の業務は？

南部出張所の業務を南部クリーンセンター内で行うこととなります。入口を入ってすぐ右側です。

リノベーション予算は5億8千万円です。今後、老朽化し改築等の必要な公共施設の有り方に大きく影響する事業となります。(手賀近隣センター新築は規模は小さいですが約4億円でした。)

南部クリーンセンター図



●高柳駅西口第一駐輪場を平成31年4月1日から運用開始



駐輪場
利用申し込み開始予定。
12月上旬に抽選



一般1・2階10,800円 3階8,400円
高校生以下1・2階5,400円 3階4,200円

●高柳駅橋上駅舎 平成30年10月28日(日)発列車から使用開始



お知らせ

- 東西自由通路東口はエレベーターと仮設階段の利用。
- 駅構内・東西自由通路東口の工事は平成31年度末頃まで継続
- 第266号踏切は平成30年10月28日(日)朝4時に廃止されます。

●逆井3丁目右折信号機 (白井流山線)

右折レーンはあるが右折信号のない交差点でした。要望が実り信号機の設置と成りました。右折の利便性が高まりました。



●手賀東小学校に子どもルームの設置

校舎1階のコンピューター教室を改修し、通学する児童の保護者に対する就労支援、同校児童への放課後の安心安全な居場所づくりをします。



*同校は平成30年度柏市小規模特認校です
平成30年度柏市小規模特認校制度対象者 就学条件
○対象者：本校学区外の柏市内に在住する小学生

小規模特認校制度とは、児童数が少ない学校を「特認校」と指定し、少人数での教育の良さを生かし、個に応じた指導や特色ある教育を行うことにより、このような教育環境での就学を保護者や児童が希望する場合に、一定の条件のもと通学区域を越えて(柏市内に限る)入学を認める

- (1)小規模特認校制度の趣旨や就学する小規模特認校の教育活動に賛同し協力すること。
- (2)小規模特認校の学校見学を事前に行うこと。
- (3)保護者の責任と負担において、公共交通機関や保護者の送迎等により安全に通学できること。



◎安全について

●土南部小学校の主な校門は2か所あるが、豪雨時には冠水し、校内に入れない。根本的には大津川左岸6号雨水幹線の整備を待たれるところである。(本年度に国に事業変更の申請する。)以前にも質問したことであるが、苦慮する現状に対策が進まないことから再度尋ねた。総務部長は計画的に浸水対策を進めている。避難通路の確保のために排水処置等について、関係部署と連携して対応する。

●柏市は備蓄品のアレルギー対応粉ミルク・離乳食、哺乳瓶・消毒器具等の備蓄がない。家庭での備蓄品も被災した際、公的備蓄は必要である。総務部長は民間事業者と災害時における物資の供給等に関する協定を締結して、調達できるように検討する。

現状は備蓄がありません。アレルギー対策の必要な方や、乳幼児のいる家庭では自助努力が必要になります。野田市・我孫子市・鎌ヶ谷市・白井市・船橋市等では備蓄している。大震災の可能性ありと言われる時代。今後の課題です。



●ブロック塀の倒壊は、防ぐことのできる事故である。ブロック塀撤去、生け垣助成制度は有効な手段であり、復活し推奨すべきである。

総務部長は災害時の道路空間の安全確保を図るため危険ブロック塀の撤去費用の一部を補助する予定である。生け垣助成金交付制度も復活の調整をする。

●不登校の児童生徒は増加傾向にあり、小学校456名、中学校199名の不登校児童生徒を、スクールソーシャルワーカーは6名で対応している。各学校に配置する配置型を要望するが、当面中学校区に1人の配置を強く要望した。学校教育部長は十分な支援が来ているとは言えない。支援が必要な児童生徒や保護者に、きめ細やかな対応をし、スクールソーシャルワーカーのあり方を十分に検討し、今後は全中学校区に配置し段階的に拡充したい。

●特別支援学級担任は、児童1人ひとりに応じた支援が求められるため、特別支援教諭免許状の取得で、専門性を高める必要があると要望した。学校教育部長は千葉県でも免許状の取得を推奨しており、特別支援学級担任の専門性を高め、資質、能力の向上に努める。

◎福祉について

●交通弱者対策

交通弱者対策は土木部の範疇で数回にわたり対策を要望し、5ヶ年計画へと進み対策しつつあります。今回はあえて個別の対応を福祉の観点で捉え、検討すべきと考えて質問した。保健福祉部長は買い物や通院、通いの場といった地域の移動手段の確保に、福祉的観点から出来る高齢者の移動支援策を調査研究する。としています。早調査研究段階は統計調査などを加味すれば、これから研究を始めるのかとの思いです。統計の意味を問いたず必要を考えました。早急な対策が必要である。



●児童相談所設置を再度求めた

本年3月、東京都目黒区で発生した痛ましい事件から、また29年度の児童虐待の相談は全国13万4千件の現状をふまえ、国の児童虐待防止対策の強化緊急総合対策の発表もされた。本市の事件を振り返り財政、児童福祉司の確保、児童養護施設や乳児園の整備。また関係機関との協力体制を整える必要がある。緊急性を鑑み早期設置の要望をした。

●柏市国際交流協会

承德市委員会の一環事業で高校一年生2名が夏休みにホームステイし、市内訪問や茶道の体験をしました。また着物に興味があり浴衣姿で一日市内見学を楽しみ、柏駅西口ホテル前のお別れに、再会の約束し涙を浮かべ帰国の途につきました。

